



## 令和7年を迎えて

札幌報恩会  
理事長 村田 英男

### 謹賀新年

明けましておめでとうございます。令和7年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、当法人の運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年 元旦

令和7年度は創立107周年を迎えます。コロナ禍が少し落ち着き、通常生活に戻りながらも、未だに世界情勢は不安定で日本経済への状況、福祉業界でも変化する中、本法人への影響も懸念しているところです。利用者様、園児様の健康状況の不安、地域福祉へのニーズの高まり、賃金・物価の上昇や人材不足が深刻化等々。グルグル目が回ってしまいそうです。

お正月と言えば年賀状です。年賀状は、新年最初の挨拶として個人や企業に使われてきました。しかし、近年は徐々に年賀状のやり取りが減少しています。個人ではSNSやメール、LINEで問題ないという人が増え、年賀葉書1枚の価格が昔より上がっているのも原因だそうです。あるコラムに「手間とコストをかけ、昔からの慣習を続けるのか問われている」と、時代の流れでしょうか。流行りのことは素通りするので眺めているだけでは捕まえられませんが、すくってみるとその不安定さが新たな発見でもありそうです。コロナ禍後の影響、物価高騰の影響、どんな風が吹いても備えがあれば全てを完璧に防ぐことはできませんが、いかなる事が起こっても善処できるようリスクに敏感となり、備えをしておく必要が高まる一年となりそうです。

当法人は、令和7年度～9年度を対象期間とする「中期経営戦略」を策定し、具体的方策や目標を明確にして、新たなステージに踏み出します。法人を応援して頂いている全ての方に深く感謝し、「未来へ結ぶ」福祉の実践をすすめてまいります。

今後も、地域に根ざした法人として、信頼され愛される法人を目指してまいりますので、一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。